

第1 平成16年度当初予算の状況

1 予算のあらまし

(1) 財政環境と予算編成方針

国の平成16年度予算については、これまでの「改革断行予算」という基本路線を継続し、構造改革を一層推進し、活力ある経済社会と持続的な財政構造の構築を図るため、歳出全体にわたる徹底的な見直しを行ない、歳出改革を一層推進することとし、一般会計歳出及び一般歳出について実質的に平成15年度の水準以下に抑制するとともに、特別会計については、各特別会計の性格及び予算執行の状況等と踏まえ、事務・事業の見直しを行ない歳出の効率化・合理化を図ることなどの基本方針に基づき編成されました。

この結果、一般会計予算の規模は、82兆1,109億円（前年度比3,218億円、0.4%増）で、一般歳出は、47兆6,320億円（前年度比398億円、0.1%増）となっています。

また、平成16年度の地方財政対策は、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入の伸びが見込めない一方で、公債費が高い水準で推移すること等により、依然として大幅な財源不足が生じるものと見込まれています。また、歳出面については、「基本方針2003」に沿って、国の歳出予算と歩みを一にして、徹底して見直すこととし、中期的な目標の下で、定員の計画的削減等による給与関係費の抑制や地方単独事業費の抑制を図り、これらを通じて、地方財政計画の規模の抑制に努めることにより財源不足額の圧縮を図ることを基本として地方財政対策を講じることとして地方財政計画が策定され。その規模は、84兆6,700億円（前年度比1兆5,400億円、1.8%減）となっています。

本県の平成16年度予算については、「県民しあわせプラン」を着実に推進するため、各事業について、厳しい優先度判断を行ないつつ、3つのテーマで選定した30項目にわたる「重点プログラム」へ、戦略的、重点的な投資を行なっていくなど、「選択と集中」を一層進めたうえで『「みえけん愛を育む“しあわせ創造県”」の実現に向けた予算』として積極的な編成をしています。